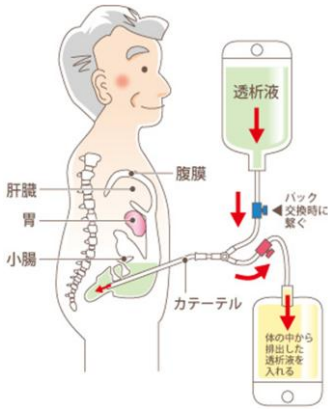




腹膜透析とは



腎臓の機能が低下し、十分に毒素や水分が尿から排泄できなくなると、その体に溜まった毒素や水分を取り除くため、透析を始めなければなりません。その透析には血液透析と腹膜透析があります。腹膜透析は手術で腹部にカテーテルを挿入し、そのカテーテルから透析液を4～6時間おきに交換して、自分の体内で透析をします。現在、日本では腹膜透析はわずか3%でほとんどが血液透析です。「自分でやらなければならない」「バッグ交換の方法が覚えられない」「お腹にチューブが入った状態で怖い」「液でお腹がふくれそう」という理由で腹膜透析を選択されない方がいます。

腹膜透析をすすめるわけ

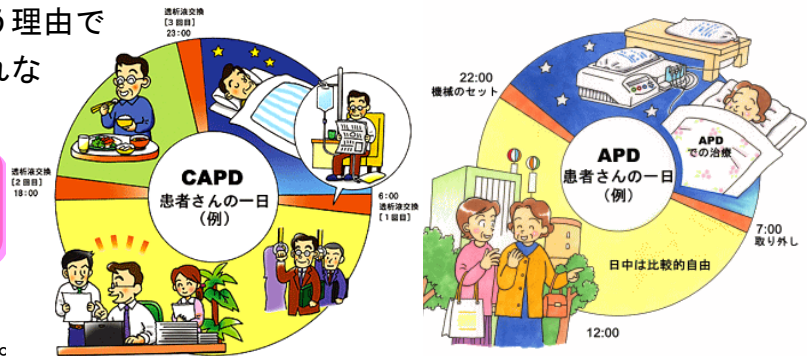
★腹膜透析は時間をかけて透析ができるため心臓に負担がかからず血圧も下がりません。

そして、少しでも腎臓の働きを長持ちさせることができます。つまり、体に優しい透析です。

★自宅で毎日バッグ交換（腹膜透析）するので通院は月1回です。1日のうちに必要な透析ができれば、自分のスケジュールに合わせることもできます。ライフスタイルを透析に合わせるのではなく、透析をライフスタイルに組み込むというイメージです。

★食事療法は血液透析に比べて緩やかで、野菜や果物も気兼ねなく食べていただけます。

学生さんや仕事をされている方にはライフスタイルと食事の面から、
高齢者の方へは身体面や通院の面から腹膜透析を勧めたいと考えています。



腹膜透析をサポートするシステム作り

当センターでは腹膜透析をしたいけど退院してからできるかどうか不安とお悩みの方のために訪問看護師導入システムを始めました。必要に応じ、透析療法選択外来で腹膜透析を選択された段階から地域の訪問看護師と連携を図り、自宅で治療開始後、適宜、自宅訪問を受けることができるようになりました。「一人暮らしで不安」「家族にしてもらっているが昼間は留守」「退院してしばらく見に来てほしい」という方へ当センターと連携を図りながら、訪問看護師のサポートを受けていただくことができます。

当認定看護師会では医療従事者研修として3月22日地域の訪問看護師・ケアマネジャー・ヘルパー向けに腹膜透析の実技研修を開催します。詳細は各施設配布のお知らせをご覧ください。

世界腎臓デーイベントのお知らせ

毎年3月の第2木曜日は世界腎臓デー!!
今年は3月10日です。



今年も世界腎臓デーイベント開催!!
3月6日(日):きてか〜な(近江八幡市)
お子様から大人まで楽しめる企画あり!!

文責 透析看護認定看護師 井本千秋